

令和 7 年度 堺市衛生研究所運営協議会 会議録

開催日時：令和 8 年 1 月 20 日（火）14:00～16:00

場 所：堺市保健医療センター 1 階会議室（堺市堺区甲斐町東 3 丁 2 番 6 号）

出席委員：（敬称略 順不同）

尹会長、佐々木副会長、森委員、中田委員、橘委員、秋山委員、服部委員

永井委員、中井委員、伊計委員、岩城委員（11 名）

欠席委員：松浦委員、若槻委員

傍 聴 者：0 人

事 務 局：堺市衛生研究所（野田所長、田畑所長代理、三好総括研究員、中村総括研究員、
松浦主任研究員）

議 案：

1. 開会

2. 議事

（1）企画調整担当事業報告

（2）感染症発生動向調査事業報告

（3）ウイルス検査担当事業報告

（4）細菌検査担当事業報告

（5）環境検査担当事業報告

（6）食品検査担当事業報告

（7）トピックス「下水サーベイランスを利用した堺市内のエンテロウイルスの流行解析」

（8）その他

3. 閉会

会 議 録：

1. 開会

会議の成立について

・堺市衛生研究所運営協議会規則第 4 条第 2 項により、委員の過半数の出席があり、会議が
成立していることを確認した。

2. 質疑応答・意見

・企画調整担当事業報告

委員) 検査機器の更新計画について、具体的に教えていただけますか。

事務局) 更新計画については、各検査機器の耐用年数や使用年数、修繕に要する経費、保守・点検費用などを総合的に考慮し、個別に設定しています。概ね、使用開始から10年程度が買い替えの目安となることが多い状況です。

・感染症発生動向調査事業報告

特になし。

・ウイルス検査担当事業報告

委員) 令和6年度のHIV検査数1,047件のうち、陽性はどの程度でしょうか。

事務局) 本HIV検査は、各保健センターが一般市民向けに実施しているものです。令和6年度は陽性はありませんでしたが、陽性率はおおむね0.1%程度で、年間1例程度となっています。

委員) 新型コロナウイルスの変異株等について、検体を収集する仕組みはどのようになっていますか。

事務局) 令和7年度より、ARI(急性呼吸器感染症)サーベイランスが開始されました。ARIでは新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症を含めて調査しています。新型コロナウイルス陽性の場合には、さらに型別検査等を実施しています。検体収集の仕組みについては、従来の方法を拡充し、引き続き運用しています。

委員) インフルエンザウイルスについて、現在検出されている型以外に、大きく変化した型はありますか。

事務局) 大きく異なる新たな型が出現しているわけではありませんが、既存の亜型から少し変異した型が今後流行する可能性はあります。

・細菌検査担当事業報告

委員) 「検体数」とは、具体的に何を指していますか。

事務局) 検体とは、検査を行うために採取したサンプルのことで、例えば食品衛生分野では、調理済み食品や原材料など、それぞれを1件ずつ「1検体」と数えます。1検体について複数の細菌検査を行うため、検査項目数は検体数より多くなります。

・環境検査担当事業報告

委員) 「災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコル

の開発」に用いる検査機器は何ですか。

事務局) ガスクロマトグラフ質量分析計を使用しています。

・食品検査担当事業報告

特になし。

・トピックス「下水サーベイランスを利用した堺市内のエンテロウイルスの流行解析」

委員) 臨床検体の調査では、病院を受診した方についてしか把握できませんが、本研究では不顕性感染の方まで含めて調査できるという理解をしています。下水で検出されれば、注意喚起につながられるようになると良いと思いますが。

事務局) 例えば新型コロナウイルスでは、下水中の濃度が一定以上になった場合に注意喚起を行えるよう、研究を進めている方もいます。しかし、現状では十分にうまくいっていない状況です。目標としてはその方向にありますが、実現まではまだ時間がかかると考えています。

・その他

特になし。